

## 24 年度業績見通し、経営課題、新卒採用の状況、 外国人労働者の雇用状況についてのアンケート調査結果

### （今回のアンケート調査の目的、狙い）

株式会社ばぎん総合研究所（ひまわりベンチャー育成基金＜調査研究部門：千葉経済センター＞から調査を受託）では、県内企業に対して、「24 年度業績見通し」、「経営課題」、「新卒採用の状況」、「外国人労働者の雇用状況」について、以下の要領でアンケート調査を実施した。

### 業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

（単位：社）

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
<b>全産業</b>	<b>205</b>	<b>179</b>	<b>26</b>	<b>77</b>	<b>128</b>
<b>製造業</b>	<b>111</b>	<b>95</b>	<b>16</b>	<b>25</b>	<b>86</b>
食料品	24	19	5	9	15
石油・化学	12	5	7	6	6
プラスチック	7	6	1	1	6
窯業・土石	10	10	0	1	9
鉄鋼・非鉄金属	9	9	0	1	8
金属製品	12	9	3	2	10
一般・精密機械	9	9	0	2	7
電気機械	8	8	0	1	7
輸送用機械	11	11	0	2	9
その他製造	9	9	0	0	9
<b>非製造業</b>	<b>94</b>	<b>84</b>	<b>10</b>	<b>52</b>	<b>42</b>
建設	15	13	2	6	9
運輸・倉庫	8	8	0	2	6
卸売	15	11	4	7	8
小売	15	14	1	10	5
ホテル・旅館	8	7	1	5	3
サービス	33	31	2	22	11

### 調 査 要 領

1. 対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方 法… 郵送によるアンケート方式
3. 実施期間… 配付：2024年 6月 3日  
回収：2024年 7月11日
4. 回答状況… 調査対象企業 401社  
  内有効回答数 205社  
  有効回答率 51.1%

（注1）調査票の回収数は205だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数（母数：n）は異なる。

（注2）図表の構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とはならない。

注）大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

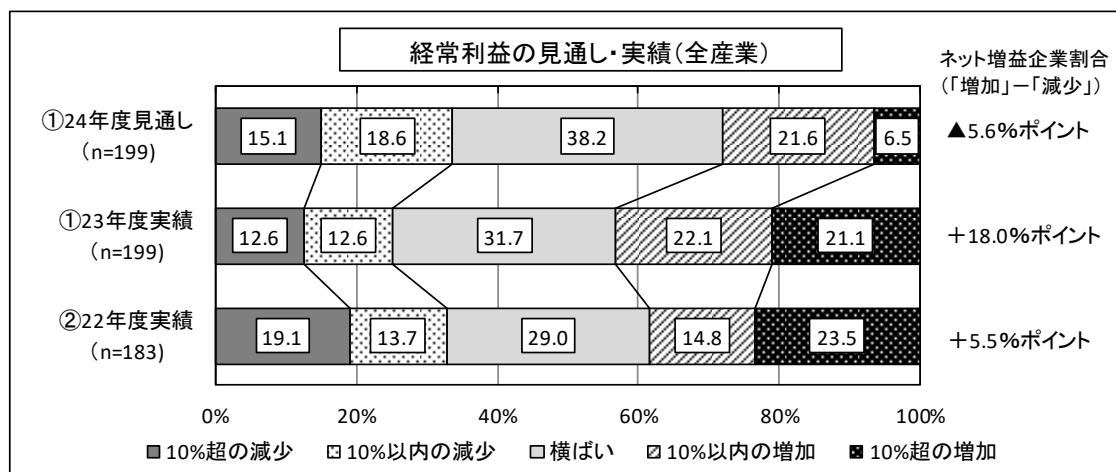
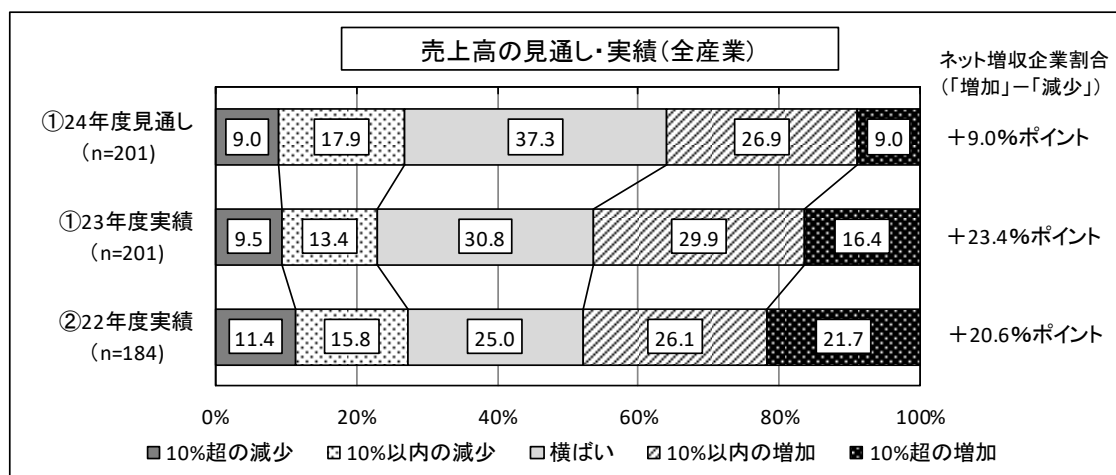
中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

## 1. 決算状況

- (1) 貴社の売上高の変化および2024年度の見通しについてお聞かせください。  
 (2) 貴社の経常利益の変化および2024年度の見通しについてお聞かせください。

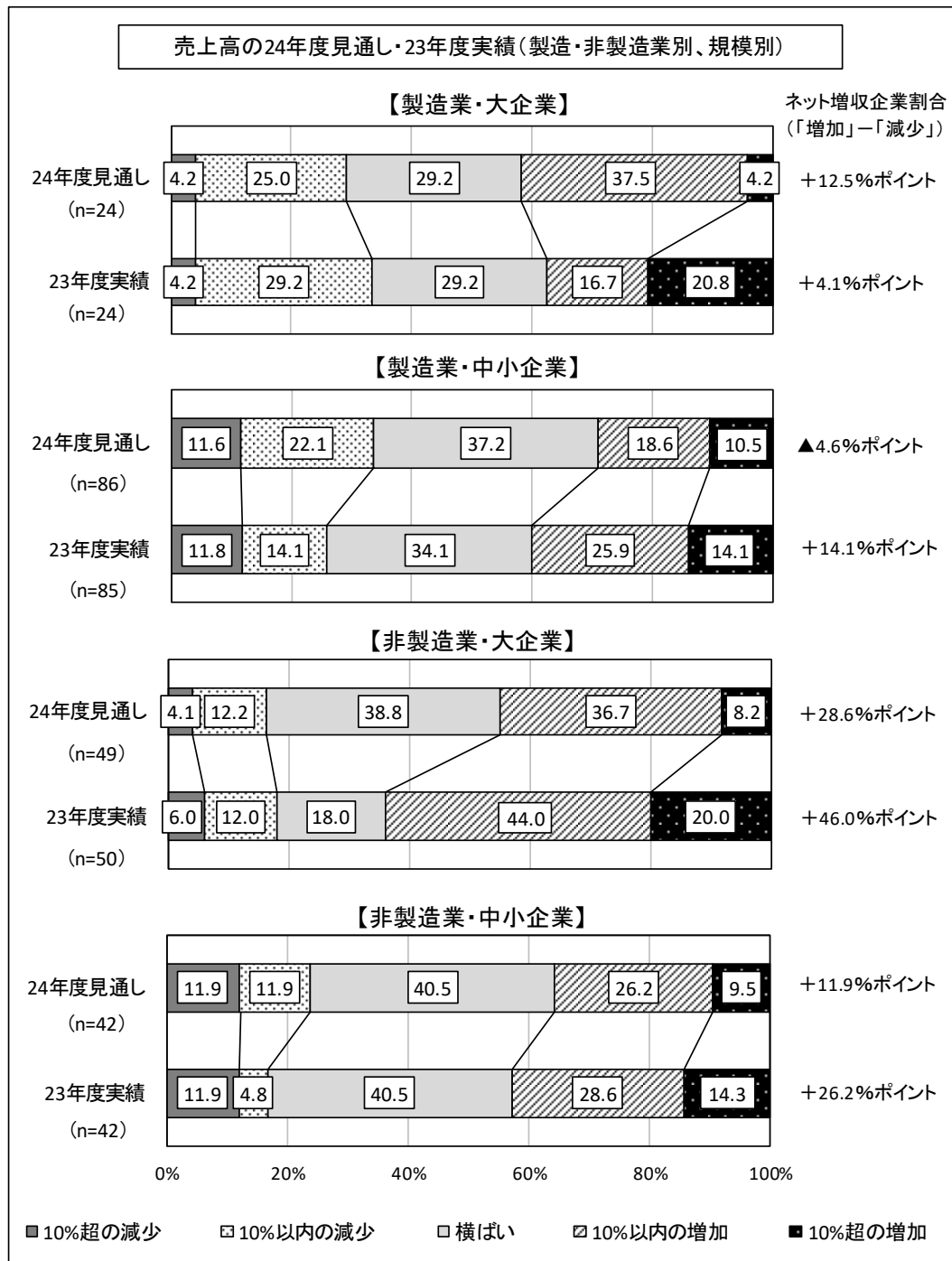
23年度の業績は、売上高、経常利益ともに増収（増益）先が減収（減益）先を上回り、ネット増収企業割合（増収企業割合－減収企業割合）は+23.4%ポイント、ネット増益企業割合（増益企業割合－減益企業割合）は+18.0%ポイントで着地した。

24年度の業績は、ネット増収企業割合が+23.4→+9.0%ポイント、ネット増益企業割合が+18.0→▲5.6%ポイントと、ともに前年度より低下する見通しとなっている。

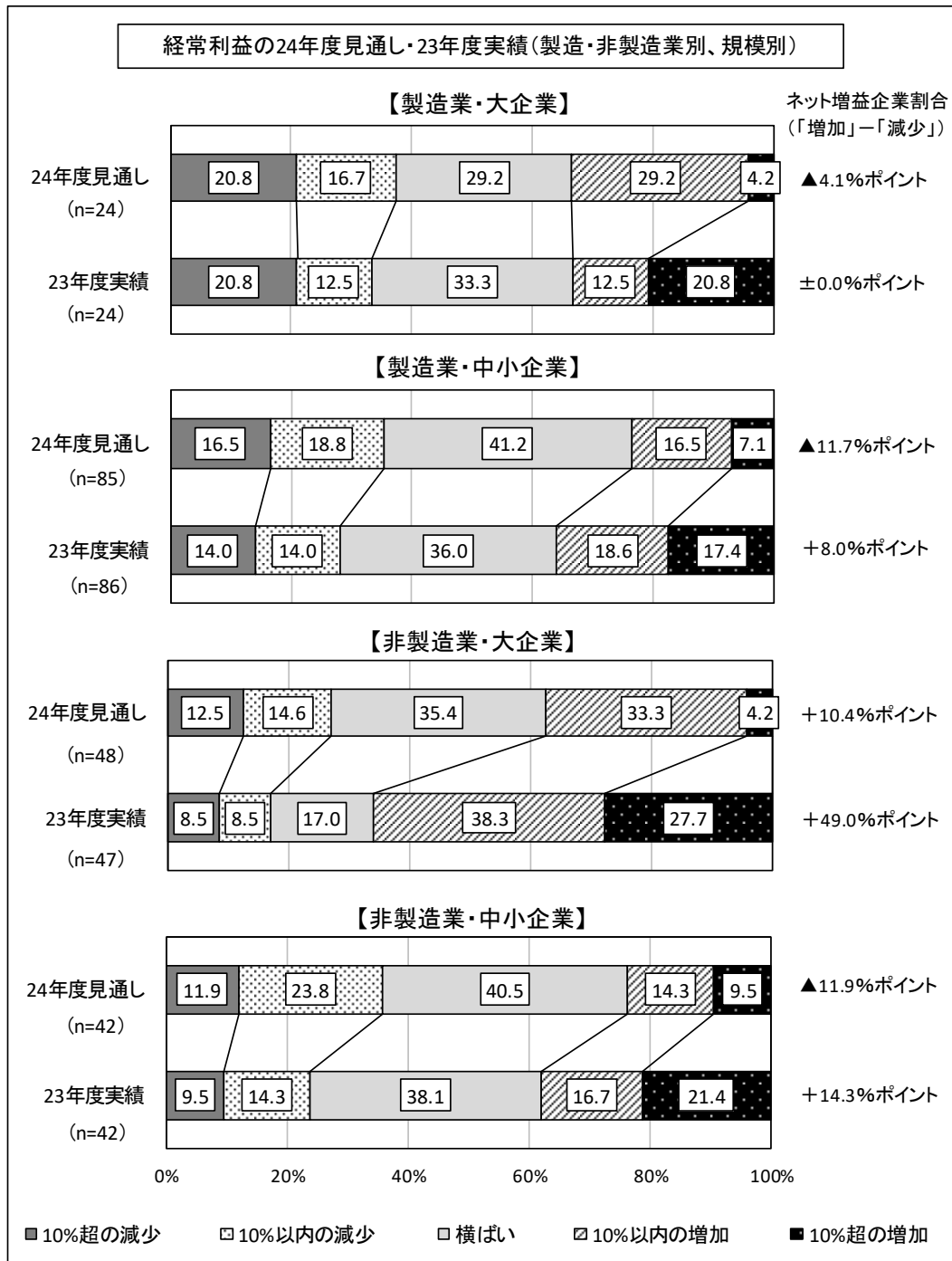


(注) ①が今回調査、②が前年調査につき、回答企業は異なる。

製造・非製造業別、規模別にみると、売上高については、製造業・大企業（+4.1→+12.5%ポイント）では、ネット増収企業割合が前年度から上昇するが、その他のセグメントでは低下し、製造業・中小企業（+14.1→▲4.6%ポイント）では、減収企業が増収企業よりも多くなる。



経常利益については、全てのセグメントでネット増益企業割合が前年度から低下し、非製造業・大企業（+49.0→+10.4%ポイント）以外のセグメントでは、減益企業が増益企業よりも多くなる。



業種別にみると、24年度においてネット増収企業割合が高いのは、「運輸倉庫」(+50.0%ポイント)、「プラスチック」(+42.9%ポイント)、「小売業」(+26.7%ポイント)など。経常増益を見込む企業の比率が高いのは、「プラスチック」(+28.6%ポイント)、「ホテル旅館」(+25.0%ポイント)、「窯業土石」(+20.0%ポイント)などとなっている。

一方、減収を見込む企業が多いのは、「金属製品」(▲50.0%ポイント)、経常減益を見込む企業が多いのは、「金属製品」(▲41.7%ポイント)、「一般・精密機械」(▲37.5%ポイント)などとなっている。

### 【セグメント別】

売上高が増加した(増加を見込む)企業の比率

(単位:%ポイント)

	23年度実績 ネット増収 企業割合	24年度見通し ネット増収 企業割合
全産業	23.4	9.0
大企業	32.4	23.3
中小企業	18.2	0.8
製造業	12.0	▲ 0.9
食料品	29.2	12.5
石油化学	▲ 10.0	9.1
プラスチック	14.3	42.9
窯業土石	30.0	20.0
鉄鋼非鉄	11.1	▲ 11.1
金属製品	▲ 8.4	▲ 50.0
一般・精密機械	▲ 22.2	▲ 11.1
電気機械	37.5	▲ 12.5
輸送用機械	9.1	▲ 9.1
その他製造	11.1	0.0
非製造業	37.0	20.9
建設業	0.0	26.6
運輸倉庫	37.5	50.0
卸売業	42.9	▲ 7.2
小売業	53.3	26.7
ホテル旅館	37.5	25.0
サービス業	43.7	19.3

経常利益が増加した(増加を見込む)企業の比率

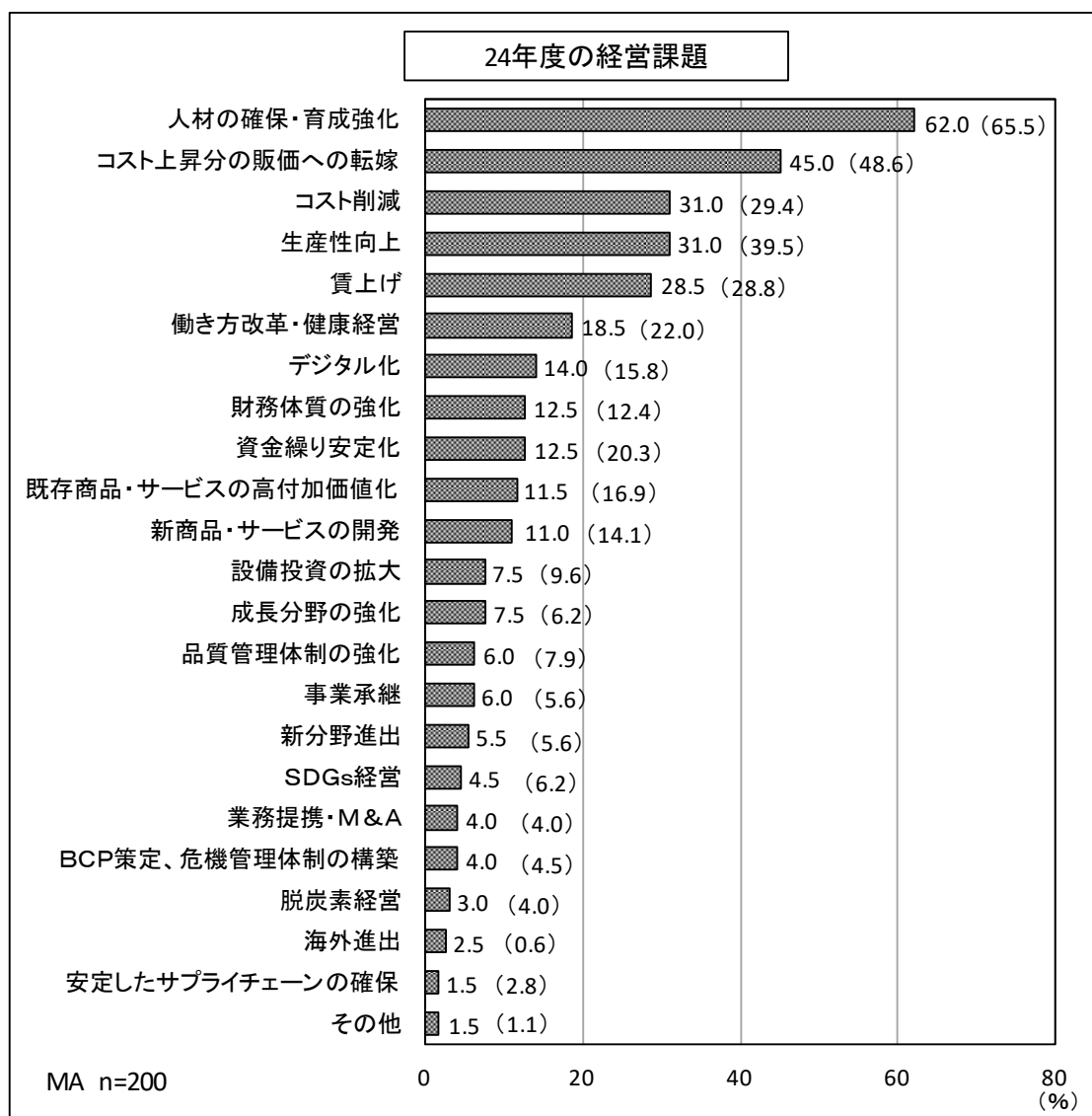
(単位:%ポイント)

	23年度実績 ネット増益 企業割合	24年度見通し ネット増益 企業割合
全産業	18.0	▲ 5.6
大企業	32.4	5.5
中小企業	10.2	▲ 11.9
製造業	6.4	▲ 10.0
食料品	8.3	▲ 16.6
石油化学	▲ 18.2	9.1
プラスチック	14.3	28.6
窯業土石	0.0	20.0
鉄鋼非鉄	0.0	0.0
金属製品	8.3	▲ 41.7
一般・精密機械	▲ 33.3	▲ 37.5
電気機械	62.5	▲ 25.0
輸送用機械	0.0	9.1
その他製造	33.3	▲ 33.3
非製造業	32.6	0.0
建設業	26.7	▲ 13.3
運輸倉庫	37.5	▲ 12.5
卸売業	50.0	▲ 7.1
小売業	28.5	0.0
ホテル旅館	37.5	25.0
サービス業	26.6	6.5

## 2. 経営課題

2024年度の経営課題として、どの分野に重点的に取り組めますか。(複数回答可)

24年度に重点的に取り組む経営課題は、「人材の確保・育成強化」(62.0%)が6割を超え、前年に続いて最多となった。以下、「コスト上昇分の販価への転嫁」(45.0%)、「コスト削減」(31.0%)、「生産性向上」(同)が続き、ほぼ前年と同様の傾向となっている。

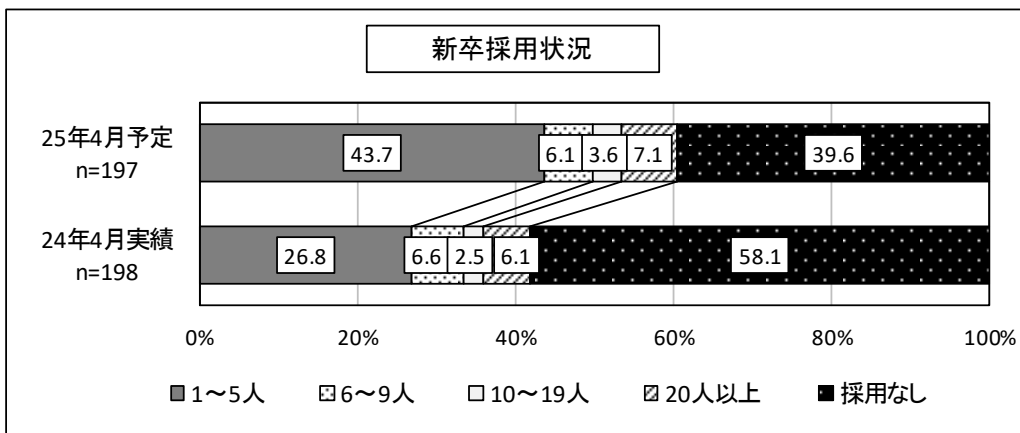


(注) ( ) 内は前年調査実績、単位：％。

### 3. 新卒採用の状況

(1) 貴社の新卒者の採用状況についてお伺いします。  
24年4月の採用実績、25年4月の採用予定数についてお聞かせください。

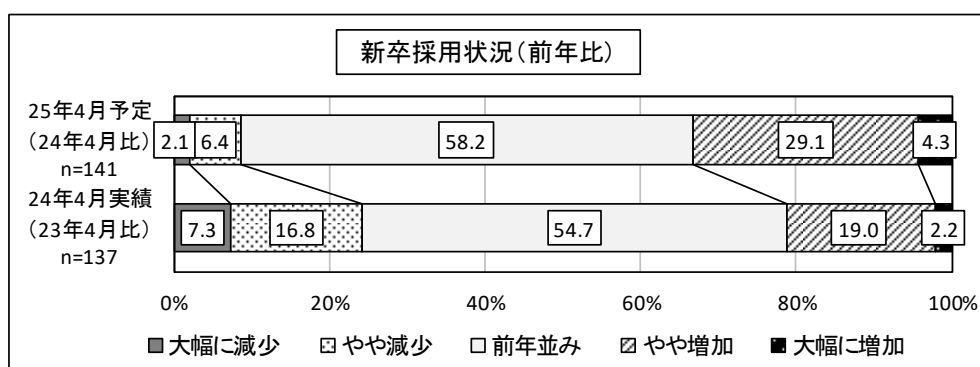
24年4月の採用実績は、「採用なし」(58.1%)が最も多く、「1～5人」(26.8%)が続いた。25年4月の採用予定では、「採用なし」企業の割合が39.6%へと低下し、「1～5人」が43.7%に増加するなど、採用姿勢が積極化している。



(2) 前年と比較した採用状況についてお聞かせください。

24年4月の採用実績は、「前年並み」(54.7%)が最も多く、「減少」先(「大幅に減少」7.3%+「やや減少」16.8%=24.1%)が「増加」先(「大幅に増加」2.2%+「やや増加」19.0%=21.2%)をやや上回った。

25年4月の採用予定は、「増加」先(4.3%+29.1%=33.4%)が「減少」先(2.1%+6.4%=8.5%)を大幅に上回る。



セグメント別にみると、「増加-減少」先割合は、24年4月採用実績において、非製造業・中小企業(▲37.5%ポイント)がマイナスとなった(減少企業の割合が増加企業を上回った)影響が大きく、全体としてもマイナスとなったが、25年4月採用予定では、製造業が+32.4%ポイント、非製造業が+17.1%ポイントと、全セグメント(製造業・非製造業/大企業・中小企業)において増加企業の割合が減少企業を上回っている。

【セグメント別】

25年4月新卒採用予定(24年度比)

(単位: %、%ポイント)

	n	減少		前年並み	増加			増加-減少
		大幅に減少	やや減少		やや増加	大幅に増加		
全産業	141	8.5	6.4	58.2	33.4	29.1	4.3	24.9
製造業	71	5.6	4.2	56.3	38.0	33.8	4.2	32.4
大企業	21	4.8	4.8	52.4	42.8	33.3	9.5	38.0
中小企業	50	6.0	4.0	58.0	36.0	34.0	2.0	30.0
非製造業	70	11.5	8.6	60.0	28.6	24.3	4.3	17.1
大企業	45	6.7	6.7	62.2	31.1	28.9	2.2	24.4
中小企業	25	20.0	12.0	56.0	24.0	16.0	8.0	4.0

24年4月新卒採用実績(23年度比)

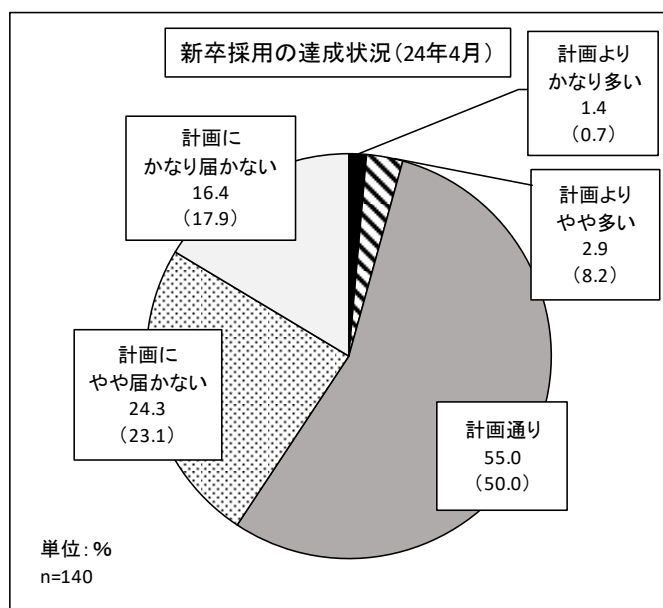
(単位: %、%ポイント)

	n	減少		前年並み	増加			増加-減少
		大幅に減少	やや減少		やや増加	大幅に増加		
全産業	137	24.1	16.8	54.7	21.2	19.0	2.2	▲ 2.9
製造業	69	15.9	13.0	60.9	23.2	20.3	2.9	7.3
大企業	21	14.3	9.5	52.4	33.3	23.8	9.5	19.0
中小企業	48	16.7	14.6	64.6	18.8	18.8	0.0	2.1
非製造業	68	32.4	20.6	48.5	19.1	17.6	1.5	▲ 13.3
大企業	44	22.7	15.9	54.5	22.8	20.5	2.3	0.1
中小企業	24	50.0	29.2	37.5	12.5	12.5	0.0	▲ 37.5



(3) 24年4月の新卒採用の達成状況についてお聞かせください。

24年4月の新卒採用の達成状況は、「計画通り」(55.0%)とする先が最も多い。他方、「計画に届かない」(「計画にかなり届かない」16.4%+「計画にやや届かない」24.3%=40.7%)とする先も、全体の4割を占めた。



(注) ( )内は前年調査実績。単位: %。

セグメント別にみると、「計画に届かない」とする先の割合は、製造業(35.6%)に比べて非製造業(46.3%)の方が高く、とりわけ非製造業・中小企業(56.0%)の高さが目立つ。

【セグメント別】

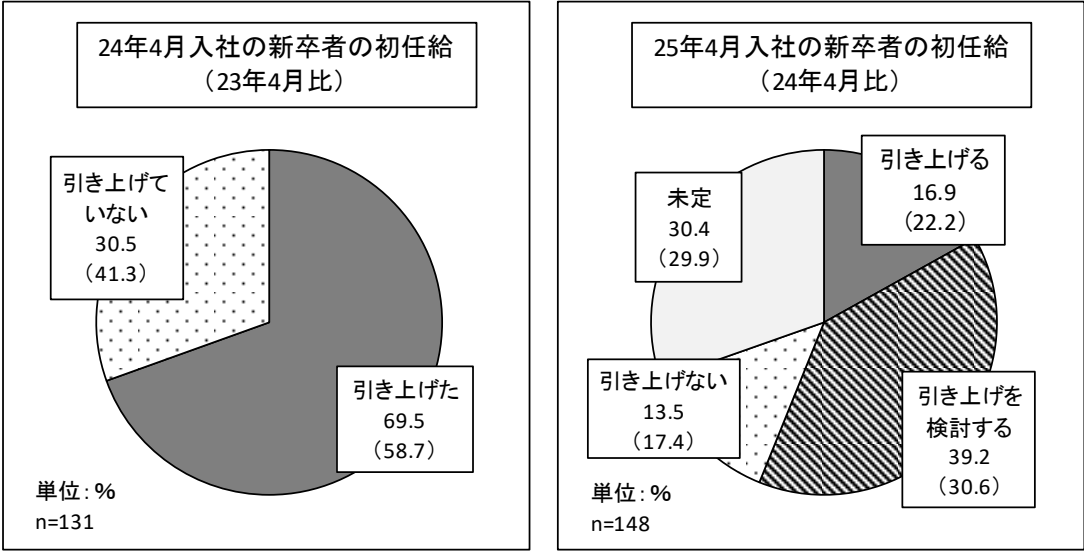
24年4月新卒採用達成状況

(単位: %)

	n	計画より多い			計画通り	計画に届かない		
		計画よりかなり多い	計画よりやや多い	計画にやや届かない		計画にかなり届かない		
全産業	140	4.3	1.4	2.9	55.0	40.7	24.3	16.4
製造業	73	2.7	0.0	2.7	61.6	35.6	21.9	13.7
大企業	22	4.5	0.0	4.5	54.5	40.9	27.3	13.6
中小企業	51	2.0	0.0	2.0	64.7	33.3	19.6	13.7
非製造業	67	6.0	3.0	3.0	47.8	46.3	26.9	19.4
大企業	42	9.6	4.8	4.8	50.0	40.5	28.6	11.9
中小企業	25	0.0	0.0	0.0	44.0	56.0	24.0	32.0
大企業	64	7.8	3.1	4.7	51.6	40.6	28.1	12.5
中小企業	76	1.3	0.0	1.3	57.9	40.8	21.1	19.7

(4) 前年と比較した初任給についてお聞かせください。

24年4月入社の新卒者の初任給を引き上げた先は69.5%と、前年調査実績(58.7%)を大きく上回った。25年4月の予定でも、「引き上げる」(16.9%)あるいは「引き上げを検討する」(39.2%)といった引き上げ方向にある先が、過半を占めた。



(注) ( )内は前年調査実績。単位: %。

【セグメント別】

24年4月入社の新卒者の初任給 (23年4月比) (単位: %)

	n	引き上げた	引き上げていない
製造業	62	72.6	27.4
	大企業	19	84.2
中小企業	43	67.4	32.6
非製造業	69	66.7	33.3
	大企業	44	75.0
中小企業	25	52.0	48.0

25年4月入社の新卒者の初任給 (24年4月比) (単位: %)

	n	引き上げる	引き上げを検討する	引き上げない	未定
製造業	78	19.2	42.3	10.3	28.2
	大企業	24	25.0	25.0	12.5
中小企業	54	16.7	50.0	9.3	24.1
非製造業	70	14.3	35.7	17.1	32.9
	大企業	45	11.1	37.8	13.3
中小企業	25	20.0	32.0	24.0	24.0

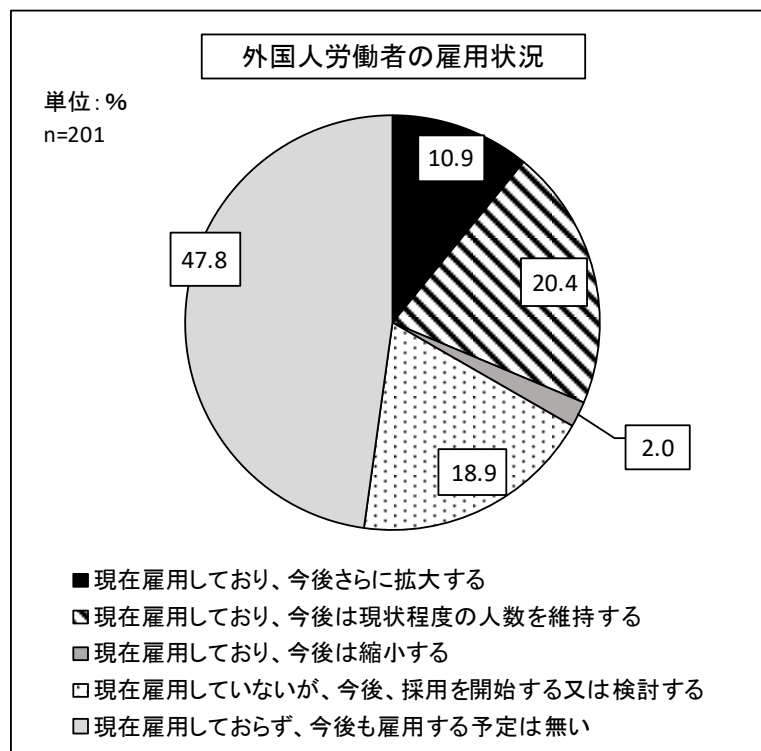
#### 4. 外国人労働者の雇用状況

(1) 貴社の事業所・工場・店舗等では、外国人を雇用していますか。

外国人労働者の雇用状況について、「現在雇用している」先（「現在雇用しており、今後さらに拡大する」10.9%＋「現在雇用しており、今後は現状程度の人数を維持する」20.4%＋「現在雇用しており、今後は縮小する」2.0%）は、33.3%となった。

外国人労働者の「雇用に前向き」な先（「現在雇用しており、今後さらに拡大する」10.9%＋「現在雇用しており、今後は現状程度の人数を維持する」20.4%＋「現在雇用していないが、今後、採用を開始する又は検討する」18.9%）は50.2%と、半数を超えた。

株式会社千葉銀行が2019年に実施した同様のアンケートでは、「雇用に前向き」な先は38.4%であったため、県内企業が外国人労働者の雇用に積極的になっている姿が窺える。



セグメント別にみると、外国人労働者を「現在雇用している」先は、「鉄鋼非鉄」(75.0%)が最も多く、「ホテル旅館」(50.0%)、「輸送用機械」(45.5%)が続いた。「雇用に向き」な先は、「鉄鋼非鉄」(75.0%)と「ホテル旅館」(同)が最多であり、以下、「建設業」(71.4%)、「石油化学」(63.7%)となった。

【セグメント別】

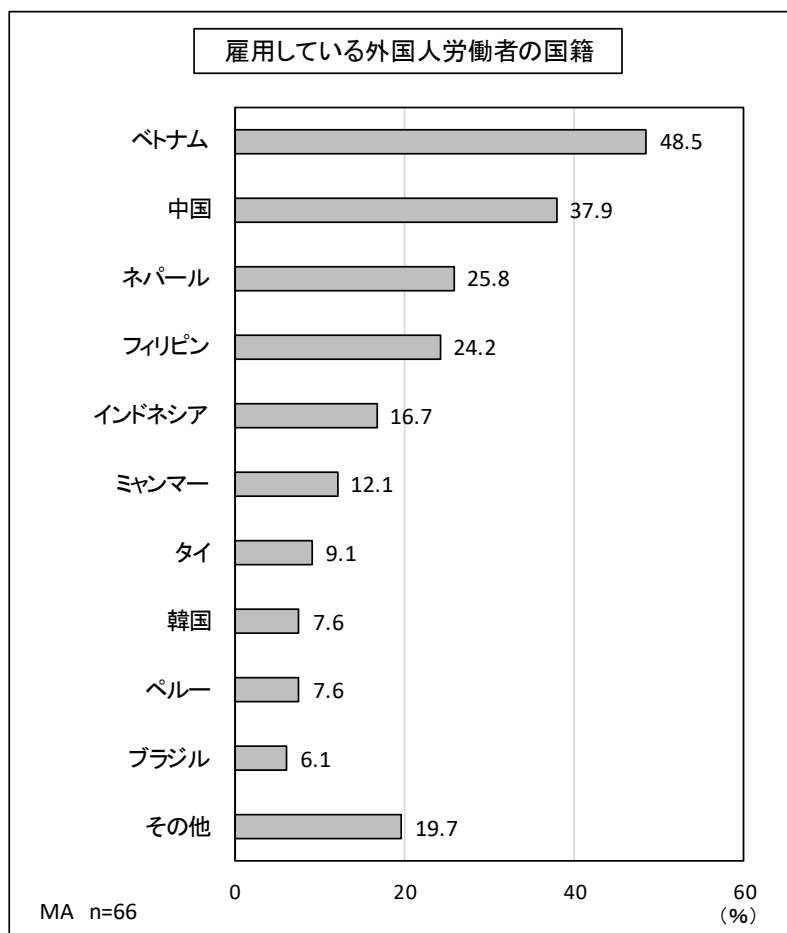
外国人労働者の雇用状況

(単位:%)

	現在雇用 しており、 今後さらに 拡大する	現在雇用 しており、 今後は現状 程度の人数を 維持する	現在雇用 しており、 今後は 縮小する	現在雇用して いないが、 今後、採用を 開始する 又は検討する	現在雇用 しておらず、 今後も雇用 する予定は 無い	現在雇用 している	雇用に向 き
	【A】	【B】	【C】	【D】		【A+B+C】	【A+B+D】
全産業	10.9	20.4	2.0	18.9	47.8	33.3	50.2
大企業	12.0	22.7	2.7	17.3	45.3	37.4	52.0
中小企業	10.3	19.0	1.6	19.8	49.2	30.9	49.1
製造業	11.9	22.0	2.8	15.6	47.7	36.7	49.5
食料品	8.3	29.2	4.2	8.3	50.0	41.7	45.8
石油化学	9.1	18.2	9.1	36.4	27.3	36.4	63.7
プラスチック	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3	57.2
窯業土石	10.0	10.0	0.0	20.0	60.0	20.0	40.0
鉄鋼非鉄	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	75.0	75.0
金属製品	8.3	16.7	8.3	8.3	58.3	33.3	33.3
一般・精密機械	0.0	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	22.2
電気機械	37.5	0.0	0.0	25.0	37.5	37.5	62.5
輸送用機械	9.1	36.4	0.0	9.1	45.5	45.5	54.6
その他製造	11.1	33.3	0.0	11.1	44.4	44.4	55.5
非製造業	9.8	18.5	1.1	22.8	47.8	29.4	51.1
建設業	28.6	7.1	0.0	35.7	28.6	35.7	71.4
運輸倉庫	0.0	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	28.6
卸売業	6.7	6.7	0.0	33.3	53.3	13.4	46.7
小売業	13.3	20.0	6.7	20.0	40.0	40.0	53.3
ホテル旅館	12.5	37.5	0.0	25.0	25.0	50.0	75.0
サービス業	3.0	27.3	0.0	12.1	57.6	30.3	42.4

(2)(1)で「現在雇用している」と回答された方にお伺いします。  
雇用している外国人労働者の国籍についてお聞かせください。(複数回答可)

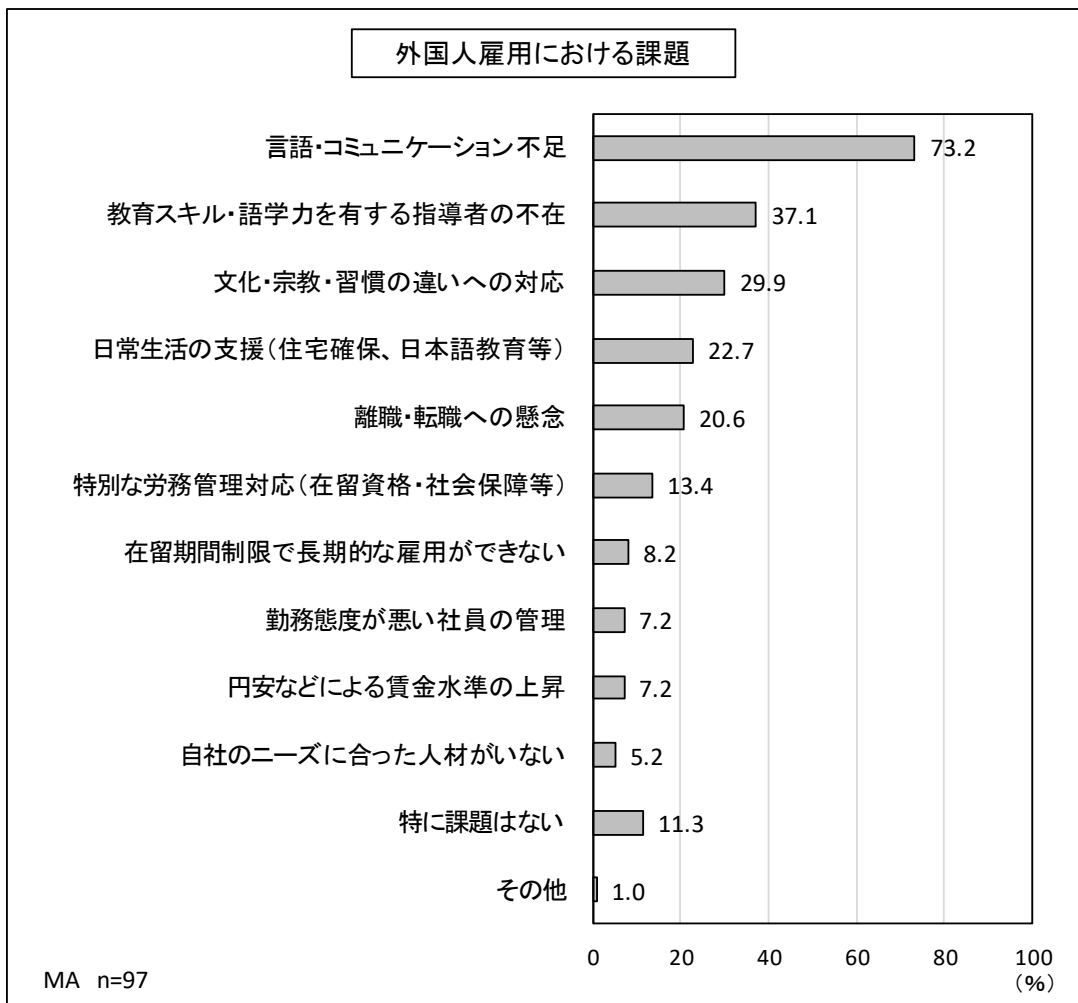
外国人労働者の国籍は、「ベトナム」(48.5%)が最も多く、「中国」(37.9%)、「ネパール」(25.8%)が続いた。



(3)(1)で「現在雇用している」または「今後、採用を開始する又は検討する」と回答された方にお伺いします。

外国人雇用における課題をお聞かせください。(複数回答可)

外国人雇用における課題は、「言語・コミュニケーション不足」(73.2%)が突出して多く、7割を超えた。これに「教育スキル・語学力を有する指導者の不在」(37.1%)、「文化・宗教・習慣の違いへの対応」(29.9%)が続いた。



以上